

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.55, July 2004

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード = 10023

会長：井原健雄 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 運営委員選挙の結果
運営幹事の選任
第18回研究発表大会のご案内
2003年度学会決算
2004年度第一回運営委員会の概要
事務局だより

1. 運営委員選挙の結果

2004-2005年度 ARSC 運営委員選挙は、2004年3月25日締め切りで実施されました。その結果は、運営委員選挙管理委員に指名された宅間文夫(明海大学)、西村巧(計量計画研究所)両委員の立会いのもと開票され、以下の方々が選出されました。

東地区 : 安藤朝夫、浅田義久、浅見泰司、林山泰久、貝山道博、川嶋辰彦、
森杉壽芳、大澤義明、佐々木公明、須田昌弥、田淵隆俊
西地区 : 藤田昌久、石川義孝、慶田収、小林潔司、黒田達朗、松澤俊雄、
文世一、中村良平、高木朗義、徳岡一幸
(以上 21 名、海外は空席)

2. 運営幹事の選任

新しい運営委員のもと、運営委員会が6月10日に開催され、以下のように新しく運営幹事が選任されました。

渉外	藤田 昌久 (京都大学)
会計	貝山 道博 (埼玉大学)
総務	安藤 朝夫 (東北大学)

3. 第18回研究発表大会のご案内

2004年度のARSC研究発表大会を、以下のような要領で北九州市立大学の主催のもとに開催致します。本年度も例年にも増した活発な発表と討論を期待しております。9月1日の発表申し込み締切りに向けて、是非奮って応募くださいますようお願い申し上げます。

(1) 大会概要

日程 : 平成16年12月11日(土)～12日(日)

会場 : 北九州国際会議場

(JR小倉駅より徒歩約7分)

北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

国際会議場ホームページ : <http://www.kitakyu-cb.jp/>

参加費 : 3000円

(2) 発表の申し込み

申し込み

申し込まれる方は、以下の必要事項を **E-mail** で **申し込み先** までお送りください。E-mailの使用が困難な場合は、A4用紙1枚以内に事項を記載してFaxまたは郵便にてお送り下さい。

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、Tel、Fax、E-mail アドレス
- d. 発表題目(和・英の両方)
- e. 要旨(和文200字、英語100語程度、できるだけ両方を記載)
- f. 発表時の使用言語(日本語または英語)
- g. 希望討論者(候補2名まで。ただし候補者に事前に了解を取る必要はありません。)
- h. 発表区分(一般セッション、Early bird セッション、シンクタンクセッション、特定セッション)

発表申し込み先 下記アドレスにメール送付して下さい。

kashiwa1@eng.ehime-u.ac.jp

メールが使えない場合は、FAX または郵送でお送りください。

FAX の場合：089-927-9843

郵送の場合：〒790-8577 松山市 文京町 3

愛媛大学 工学部 柏谷 増男

発表申し込み締切り

平成16年9月1日(水)正午必着

(3) セッション構成と企画の募集

本年度も、一般セッション、Early Bird セッション、特定セッション、シンクタンクセッションの区分に従ってプログラムを構成する予定です。各区分の概要は以下の通りですが、特に特定セッション・シンクタンクセッションについては、広く会員各位からの企画を募集しています。

一般セッション

一般セッションは広く論題を求めています。以下に例年取り上げられているキーワードを挙げますが、それ以外でも ARSC 会員に有益と思われる報告は積極的に取り上げますので、よろしくご応募下さい。

地域問題：成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画

都市問題：都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政

交通：都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信

環境：影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災

国際問題：開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税

Early Bird セッション

このセッションは博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍の学生会員が単著で申し込んだ発表によって構成されます。ARSC の将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。

特定セッション

このセッションは特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編で構成することになりますが、プログラム委員会は、このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願い致します。

過年度では、GIS、ロードプライシングなどのセッションが企画開催されました。本年度も特定セッションを是非とも開催して活発な議論を展開したいと思います。特定セッションを企画される方があれば、自由書式で結構ですので、企画書を上記の発表申し込み先に8月25日(水)までにご提出ください。

シンクタンクセッション

ARSC では会員による研究成果を実務へ活用すること、そして、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介することの双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。このセッションは会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。賛助会員の方々をはじめ、実務の方々からの企画提案を期待しております。

(4) 今後の予定

論文申し込み時のご希望に基づいて討論者の調整を行いますが、ご希望に添えない場合もあることをご了承ください。大会プログラムは10月中旬までに確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせします。

最終の発表原稿は、11月8日(月)までに討論者・座長及びプログラム委員会に個別にお送りください。(最終原稿がPDF形式で作成されていれば、プログラム委員会への提出分はメール添付ファイルでご提出いただけます。)

(5) 2004年大会実行組織

大会実行委員会	委員長	井原 健雄	(北九州市立大学)
	委員	坂本 博	(国際東アジア研究センター)
	委員	戴 二彪	(国際東アジア研究センター)
	委員	亀山 嘉大	(国際東アジア研究センター)

プログラム委員会	委員長	柏谷 増男	(愛媛大学)
	委員	奥村 誠	(広島大学)
	委員	中村 良平	(岡山大学)

4. 2003年度学会決算

事務局担当：宮本成雄(計量計画研究所)

2003年度学会決算を以下のようにご報告いたします。監査委員による監査後、本年度年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。

応用地域学会2003年度決算書 (2004年3月31日)

収入の部	2003年度予算		2003年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	7,953,685	0.00	7,953,685	0.00
2.個人会費収入	4,125,000	2,100.00	3,454,206	0.00
3. RSAI会費	975,000	0.00	673,680	0.00
4.賛助会費収入	1,250,000	0.00	1,200,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,300,000	0.00	1,300,000	0.00
6.大会参加費収入	400,000	0.00	1,035,400	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	0	0.00	40	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	224,257	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,003,685	2,100.00	15,841,268	0.00
(繰越金を除く収入合計)	8,050,000	2,100.00	7,887,583	0.00
支出の部	2003年度予算		2003年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1. RUDS刊行費	4,246,000	0.00	3,944,000	0.00
(編集印刷経費)	1,300,000	0.00	1,300,000	0.00
(刊行・発送費)	2,946,000	0.00	2,644,000	0.00
2.年報刊行費	750,000	0.00	835,065	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	1,285,400	0.00
(大会参加費)	400,000	0.00	1,035,400	0.00
(大会開催寄付金)	0	0.00	0	0.00
(大会開催補助;大学)	0	0.00	0	0.00
(大会開催補助;ARSC)	250,000	0.00	250,000	0.00
4. RSAIへの送金	975,000	0.00	737,346	0.00
5.名簿印刷費	300,000	0.00	150,150	0.00
6.ニュースレター等印刷費	200,000	0.00	189,235	0.00
7.一般事務費	210,000	0.00	304,312	0.00
(郵送費)	150,000	0.00	267,500	0.00
(消耗品等)	10,000	0.00	8,397	0.00
(謝金等)	0	0.00	0	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	28,415	0.00
8.事務局費	500,000	0.00	500,000	0.00
9.予備費	200,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,031,000	0.00	7,945,508	0.00
繰越金	7,972,685	2,100.00	7,895,760	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	169,500			
繰越金合計	8,142,185		7,895,760	

注;2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費納入は、すべて円に換金して円口座に入金

5 . 2004 年度第一回運営委員会報告概要

事務局担当：宮本成雄((財)計量計画研究所)

2004 年度第一回運営委員会が 6 月 10 日(木)に行われました。議事録の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介致します。

- ・運営委員選挙結果報告(別掲)
- ・運営幹事選任(別掲)
- ・決算報告(別掲)

・RURDS 出版関係

土井正幸 RURDS 編集委員長からの報告の紹介があり、RURDS 出版に対して、15 年度科学研究費として、130 万円の支給を受けたこと、そして、16 年度は、150 万円に増額されることとなった旨の報告があった。

・応用地域学研究出版関係

応用地域額研究に関し、以下の内容が黒田達朗編集委員長の報告として紹介された。

応用地域学研究は、年 2 回の発行となり、No.9(1)の出版は、7 月中の発行を目途に準備が、順調にすすめられている。

また、バックナンバーの PDF 化による保存措置は完了し、会員への WEB 上での公開については検討中である。

バックナンバーの図書館への収蔵、買取は、京大(文)、慶応(三田)で新しくなされ、名大(言語情報)とあわせて、3 図書館でサービスが受けられるようになった。

なお、編集委員長として 3 年目を迎え、交代を検討中である。

・坂下賞について

昨年度の大会において、坂下先生のご功績を称え、坂下賞を創ることが議論されました。それを受け、今年度第 1 回の授賞が行えるよう、佐々木公明(東北大学)先生を中心に、数名の選考委員会を設置し、選考ルール作り及び選考を行うことになりました。

・本年度研究発表大会について

井原健雄(北九州市立大学)大会委員長より、第 18 回大会の準備状況についての報告がありました。別掲のようなプログラム委員会の構成の要請がなされ、大会の実行・運営とプログラム編集の方針が示されました。

また、国際開発学会との研究発表大会レベルでの相互連携の提案があり、それぞれの大会に参加できるよう取り計らうことが議論されました。

6. 事務局だより

ARSC 会員現勢

2004 年 6 月 1 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 437 名(内、一般会員 354 名、学生会員 70 名、海外会員 13 名)

賛助会員 12 団体(総口数 20 口)。

地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して arsc@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。

事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思います。